

(研究実施に関する掲示ポスター)

1974年1月1日から2022年9月30日強度近視外来を受診された患者さんへ 研究協力をお願い

(研究課題名・承認番号)

強度近視女性患者における放射状眼底自発蛍光所見の有病率と臨床的特徴について
M2022-247 番

(研究目的)

病的近視はアジアにおいて重要な失明原因であり、日本の失明原因の第4位を占める疾患です。さらに、近年の世界規模の近視人口の増加により、病的近視の患者数が増加傾向にあることが公衆衛生上重要な問題となっています。RPGR 遺伝子変異は網膜色素変性症の重要な原因遺伝子の一つであり、強度近視と関連していると報告されています。その変異を持つ強度近視女性キャリアに、眼底自発蛍光画像における放射状パターンの所見がよく見られています。本研究の目的は、放射状眼底蛍光を呈する症例を収集し、その臨床的特徴を評価することです。

(研究内容)

1974年から2022年9月30日までに東京医科歯科大学病院強度近視外来を受診し、超広角自発蛍光検査を受けた強度近視女性患者を本研究の対象としています。

研究で使用する情報はすべて診療で得られる情報（患者の年齢、家族歴、遺伝子解析、近視の発症年齢、矯正視力、眼軸長、屈折度数、超広角眼底検査、自発蛍光検査、ゴールドマン視野検査、ハンフリー視野検査、網膜電図、光干渉断層検査、蛍光造影検査結果など）です。個人を特定出来るお名前・住所といった情報は一切公表いたしません。また、研究結果の発表時にも個人情報を使用いたしません。収集された情報は10年保管ののちに廃棄します。二次利用の可能性は無いです。研究対象者となる方に新たに費用が生じたり、診療上の不利益が起こることは決してありません。謝礼はございませんが、研究結果をもとにより良い診療及び治療に役立ててまいりたいと思います。

以上の趣旨をご理解いただき、是非この研究にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。本研究への参加をご希望されない場合は、遠慮なく下記問い合わせまでお申し出下さい。お申し出後に、収集したデータは破棄します。また本研究への参加をご希望されない場合でも、今後の診療に不利益を被ることは決してありません。

本研究は研究責任者である大野京子宛の寄付金（番号91AA191450・主任研究者：大野京子）を用いて行われています。実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会及び倫理審査委員会にて審議され、利益相反はありません。また、学会発表や論文の公表にあたっては、資金について公表し、研究の透明化を図って参ります。利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

(研究期間)

医学部倫理審査委員会承認後から2027年12月31日まで

情報の管理の責任者：大野京子

(研究についての内容、問い合わせ等の連絡先)

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学病院 眼科 研究責任者 大野京子

電話 03-5803-5302 (対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部事務部総務係

電話 03-5803-5096 (対応可能時間帯 平日 9:00~17:00)